

環境報告書 *ver.2010*

2011年 7月



はじめに

当社は、酸素・窒素・水素・アセチレンなどの一般工業ガスの製造販売、LP ガスなどの民生用ガス、およびガスアプリケーション、溶接・溶断などのガス関連機器の販売を中心に事業展開しています。

当社の環境管理活動は、ISO14001 取得を機に 2005 年度より本格的にスタートし、環境の保全・向上などを目的としてエネルギー使用量の削減、省資源・リサイクルおよび環境法令の遵守を主要な課題として取上げ、実行可能なテーマについて取り組んでいます。2010 年度もこれまでの活動結果をもとに新たな目標を掲げ、全社一丸となって環境管理活動に取り組みました。

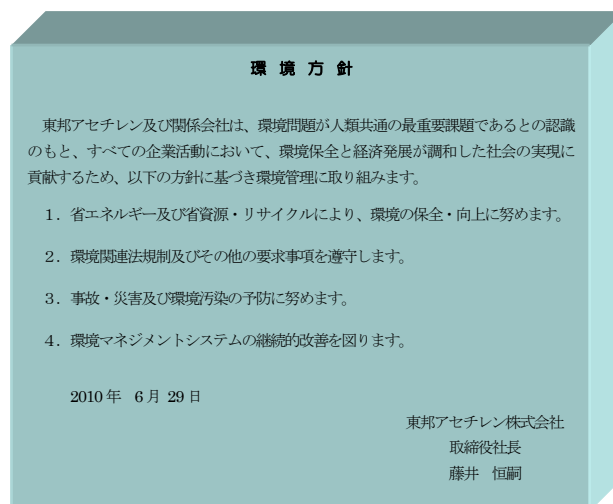
以下、2010 年度に取り組んだ活動結果についてご報告いたします。

環境問題への取り組み

■ 環境方針

事業活動に伴い、工場・事務所で使用する電力やサービスカー・タンクローリーの燃料による CO₂、その他産業廃棄物等の環境負荷が発生します。

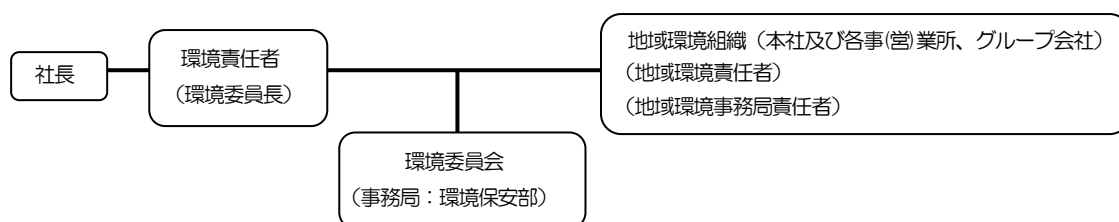
東邦アセチレングループは、排出する環境負荷の定量化および削減に努めるべく環境方針を定め、環境管理活動に取り組んでいます。



■ 環境管理システム

当社では、環境管理規程に基づき設置された環境委員会を年1回以上開催し、環境活動年度報告および次年度の活動計画を審議決定し、環境管理活動を推進しています。

当社の環境管理組織は以下のとおりです。



■ 法令遵守

当社では、2006年9月に「東邦アセチレングループCSR憲章」を制定し、コンプライアンス体制を構築することにより、環境問題に対して取組みを強化しています。取組みの一環として生産・技術本部が中心となり、各事(営)業所の環境監査を保安監査と共に環境保安監査として、年1回以上実施しています。

環境保安監査では、法令遵守(コンプライアンス)、環境負荷削減対策などの実施状況のチェックをしています。

2010年度は、32事業所(グループ会社21事業所を含む)に対し、法令遵守状況の確認を含むチェックリストにて環境保安監査を実施し、指摘事項については直ちに是正指示を出し、継続した改善活動を実施しています。

また、環境法令の改正等の情報は随時全社に発信し、対応について周知徹底を図っています。

東邦アセチレングループCSR憲章

2006.9.制定

東邦アセチレングループは、企業倫理と遵法の精神に基づいた企業活動を行うことを自らの社会的責任と考え、あらゆるステークホルダーから真にその存在を認められる企業を目指すために、ここに「東邦アセチレングループCSR憲章」を制定し、社会的良識をもって、持続可能な社会の創造に向けて自主的に行動する。

1. 社会に有用な製品・サービスを安全性や品質に十分配慮して開発、提供するとともに、製品・サービスに関する適切な情報を提供し、消費者・顧客の満足と信頼を獲得する。
2. 関係法令を遵守し、公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行う。
また、政治、行政、取引先等とは健全かつ正常な関係を維持する。
3. 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、企業活動全般にわたり自主的、積極的に環境保全に取り組む。
4. 株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正に開示する。
5. 安全で働きやすい職場環境を確保するとともに、すべての社員の多様性、人格、個性を尊重し、不当な差別の無い明るい職場づくりを目指す。
6. 自社の情報およびお客様の情報の適切な管理と保護を徹底する。
7. 「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。
8. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会勢力および団体とは断固として対決する。
9. 国際社会の一員として、国際ルールや現地の法律の遵守はもとより、現地の文化や慣習を尊重し、その発展に貢献する経営を行う。
10. 経営トップは、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、社内に徹底するとともに、グループ企業や取引先に周知させる。また、社内外の声を常時把握し、実効ある社内体制の整備を行うとともに、企業倫理の徹底を図る。
11. 本憲章に反するような事態が発生したときには、経営トップ自らが問題解決にあたる姿勢を内外に明らかとし、原因究明、再発防止に努める。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明確にした上、自らを含めて厳正な処分を行う。

(注) CSR : Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)

■ ISO14001 認証取得

当社環境活動のレベルアップおよび顧客満足度の向上を図るため、生産・技術本部液化ガス製造部(液化酸素・窒素・アルゴン製造工場)、および附属組織として関係会社である東邦酒田水素(株)(水素ガス製造工場)において、2005年1月、国際規格ISO14001の認証取得いたしました。なお、液化ガス製造部および東邦酒田水素(株)は、それぞれ2000年、2002年に単独で国際規格ISO9001(品質)を認証取得しています。



ISO 9001 00QR-428
ISO 14001 05ER-496

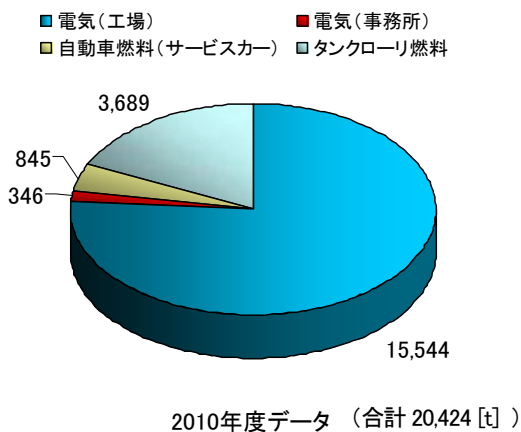
審査機関 : 高圧ガス保安協会 ISO 審査センター
登録範囲 : 液化酸素、液化窒素、液化アルゴン、水素ガスの製造
登録番号 : 05ER-496
登録日 : 2005年1月21日
更新日 : 2011年1月21日

2010 年度活動報告

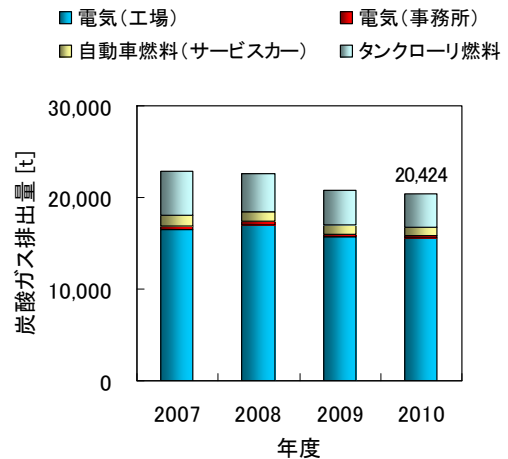
■ 炭酸ガス排出量の削減

東邦アセチレングループの事業活動において、使用する主なエネルギーの中で電力の占める割合が最も多く、電気使用量を炭酸ガス排出量に換算すると、主な使用エネルギーによる炭酸ガス排出量の78%に達しています。

地球温暖化防止のため、省エネルギー活動を積極的に推進し、炭酸ガス排出量の削減に取り組んでいます。



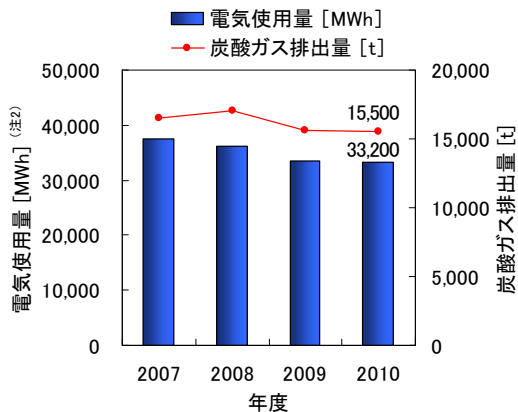
主な使用エネルギーによる炭酸ガス排出量 [t] (注1)



主な使用エネルギーによる炭酸ガス排出量の推移

生産工場における電気使用量の削減

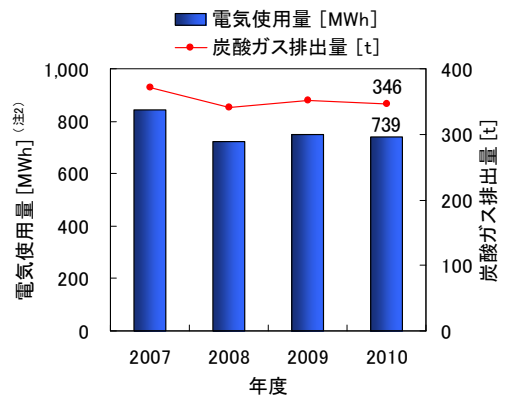
東邦アセチレングループの主な事業である産業ガスの生産には多くの電力を使用するため、各生産工場において省エネ機器の採用等、電力原単位の向上による電気使用量の削減に取り組んでいます。



生産工場における電気使用量と炭酸ガス排出量の推移

事務所における電気使用量の削減

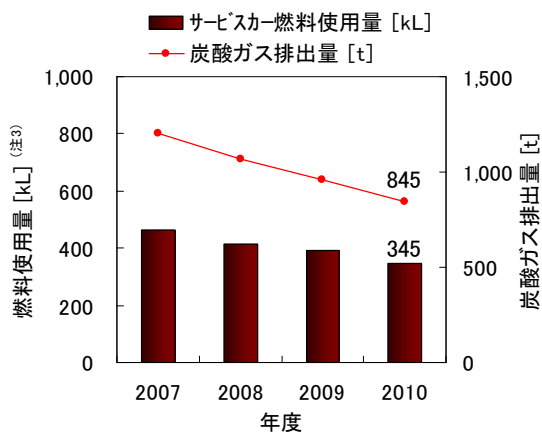
事務所における省エネルギー活動として、冷暖房の適切な設定温度の管理、クールビズ・ウォームビズの実施等による電気使用量の削減に取り組んでいます。



事務所における電気使用量と炭酸ガス排出量の推移

自動車（サービスカー）における燃料使用量の削減

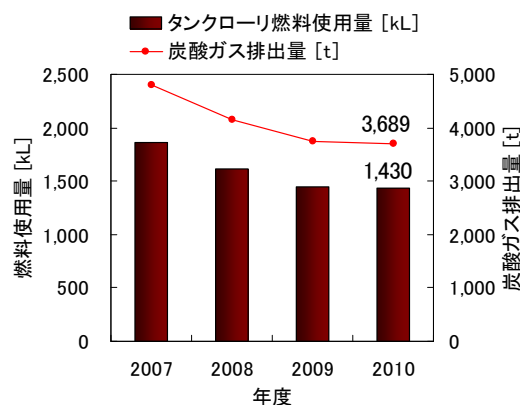
営業および保安サービス等に使用する自動車について、アイドリングストップ等、エコドライブの実施による、燃料使用量の削減に取り組んでいます。



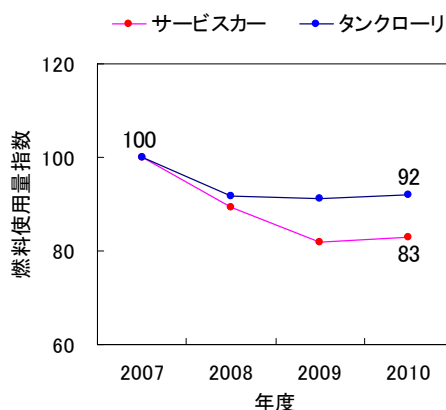
サービスカー燃料使用量と炭酸ガス排出量の推移

タンクローリにおける燃料使用量の削減

当社物流部門のグループ会社では、タンクローリにより液化ガスをお客様のもとへ輸送していますが、エコドライブツールの搭載やエコドライブの実施による、燃料使用量の削減に取り組んでいます。



タンクローリ燃料使用量と炭酸ガス排出量の推移



サービスカーとタンクローリの燃料使用量指数^(注4)推移

(注1)・電気使用による炭酸ガス排出量は東北電力（株）が発表した2009年度の数値を用いて換算しています

（「温対法のCO₂排出量算定・報告に関する東北電力のCO₂排出係数」（平成22年12月）による）

電気使用による炭酸ガス排出量=0.468 [t-CO₂/MWh]

・自動車燃料使用による炭酸ガス排出量は「地球温暖化防止対策推進に関する法律施行令」別表1の数値を用いて換算しています

ガソリン使用による炭酸ガス排出量=2.32 [t-CO₂/kL]

軽油使用による炭酸ガス排出量=2.58 [t-CO₂/kL]

(注2) 2010年度のデータについて、2011.3.11 東日本大震災により、仙台ブロックは2010年4月～2011年2月迄のデータを集計

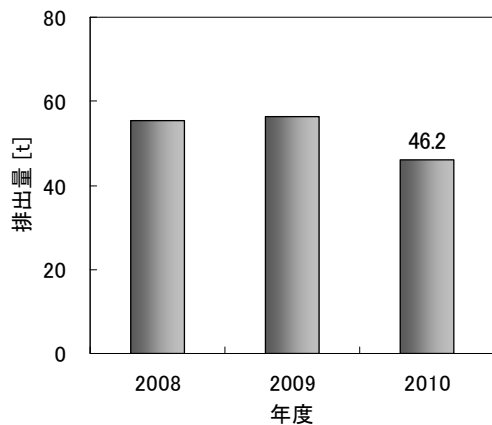
(注3) 2010年度のデータについて、2011.3.11 東日本大震災によるデータ滅失により、仙台ブロックのデータを含まず

(注4) 2007年度の1km当たりの燃料使用量を100とした場合の各年度の割合

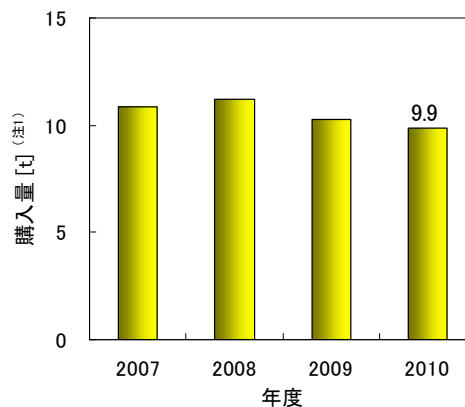
燃料使用量指数 = [各年度の1km当たりの燃料使用量(L/km) / 2007年度の1km当たりの燃料使用量(L/km)] × 100

■ 省資源・リサイクルの推進

紙資源節減のため、両面印刷の実施、裏紙の利用等による印刷物の削減、および再生紙等グリーン製品の購入促進による省資源化を推進しています。



産業廃棄物排出量の推移



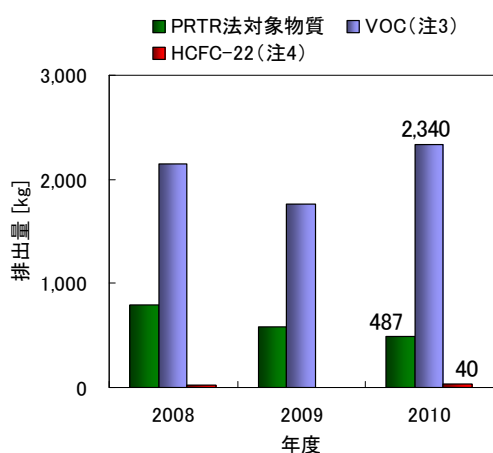
OA用紙購入量の推移

(注1) 2010年度データについて、2011.3.11 東日本大震災によるデータ滅失により、仙台事業所のデータを含まず

■ その他環境負荷物質の排出量管理

化学物質排出量の管理

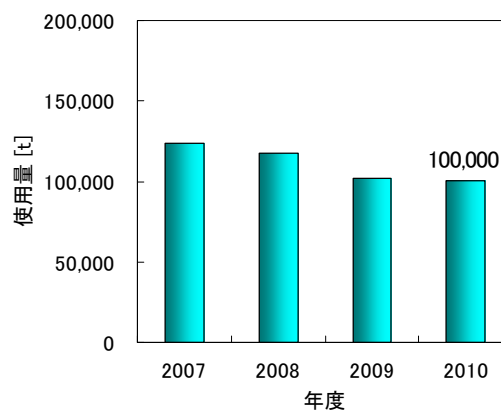
当社はPRTR法^(注1)対象物質、大気汚染防止法対象VOC^(注2)、およびオゾン層保護法対象フロン(HCFC-22)^(注4)について、排出量の削減に向けた化学物質の管理に努めています。



化学物質排出量の推移

工業用水使用量の管理

当社生産工場の冷却水等に使用する工業用水の使用量の管理を行っています。



工業用水使用量の推移

(注1) PRTR法：化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）

(注2) VOC：揮発性有機化合物

(注3) PRTR法対象物質を一部含む

(注4) 冷凍機メンテナンス時の補充量

■ 環境法令の遵守

法令を遵守し、産業廃棄物の取り扱い方について社員への周知を行い、適正な処理を行っています。また、産業廃棄物を排出し、運搬・処理・処分を業者に委託した際には、マニフェストを回収・保管（5年間）し、産業廃棄物の排出量について毎年行政への報告を行っています。

■ 労働安全衛生への取組み

当社では無事故・無災害を目標として、各事(営)業所ごとに安全教育訓練や朝礼、KYT(危険予知訓練)、5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)運動等の実施を徹底し、さらには保安ニュースの発行、環境保安監査の実施により、一層の安全衛生管理運動を推進しています。

2010年度の労働災害発生件数は3件(休業1件、不休業2件)でした。労働災害が発生した際は速やかに原因を究明し、再発防止策を講ずるとともに社内への周知を行い、全社での情報共有を図っています。

2011年度環境目標

2011年度の環境目標は、2010年度の課題をもとに新たなものとし、活動内容の周知と実施を徹底していきます。

環境目的	課題	環境目標	基準年度	対象会社
地球温暖化防止	生産工場における省エネルギーの推進	電力原単位前年度対比1%削減	2010年度	当社生産工場
	事務所における省エネルギーの推進	電力使用量5%削減	2007年度	当社および当社グループ事務所
	自動車(サービスカー)の燃費向上の推進	燃費5%向上	2007年度	当社全事(営)業所
	タンクローリーの燃費向上の推進	燃費5%向上	2007年度	当社グループ内の物流会社
化学物質管理の推進	PRTR法対象物質・VOCの排出量削減	排出量削減の推進	—	当社グループ生産工場
	冷凍機フロンの排出量削減	排出量削減の推進	—	当社生産工場
省資源・リサイクルの推進	OA用紙の使用量削減	使用量5%削減	2007年度	当社全事(営)業所
	グリーン製品の購入促進	グリーン調達率の把握	—	
	産業廃棄物の排出量削減、リサイクルの推進	排出量削減の推進 リサイクル率の把握	— —	当社および当社グループ全体
環境法令の遵守	—	環境法令の遵守	—	当社および当社グループ全体
環境配慮型商品の拡販	太陽電池、燃料電池の拡販	販売計画にて	—	当社担当部門